



主催：（仮称）磐田市協働のまちづくり基本条例策定検討委員会

第3回 いわたまちづくりワークショップ

報告

1 ワークショップの概要

（仮称）磐田市協働のまちづくり基本条例策定検討委員会が主催となって、第3回 いわたまちづくりワークショップを開催しました。

ワークショップには、中学生、高校生、大学生、子育て世代のパパママ、働きざかりの方々など、幅広い世代の皆さんに、主催者である条例策定検討委員が加わり、今回はあわせて45名が参加。

第3回は、「市民参加の意識を広げる」、「今回の関わりこそが“市民自治”と感じる」が目標でした。「対話を重ねることの必要性を考えよう！」をテーマに、これからの磐田市を描くワークを通して、互いのイメージを共有しながら、対話の重要性をはじめみんなで関われること（協働）を考えてもらうことで、今回の多くの人との関わりを次に広げるとともに、少しの参加の必要性や楽しみを自分ごととして感じてもらいました。

開催日時：令和5年1月26日（木）19時～21時

開催会場：磐田市総合健康福祉会館 i プラザ 2階ふれあい交流室

参加対象者：応募者46名（うち男性27名・女性19名）

委員10名（うち男性7名・女性3名）

2 ワークショップの流れ

- 参加者を10グループ（1グループ5名程度）に編成
- 進行は原口佐知子ファシリテーター（MUSUBI代表、ファシリテーター普及協会認定ファシリテーター、牧之原市市民ファシリテーター）
- 磐田市市民活動センターのセンター長（条例策定検討委員）からの情報提供
「磐田市市民活動センターの役割」～活動、対話の重要性、ワークショップへの思い～
- 自己紹介
- 話し合い「(ワークテーマ：これからの磐田市を描こう!)」
- 発表
- まとめ

3 ワークショップの様子



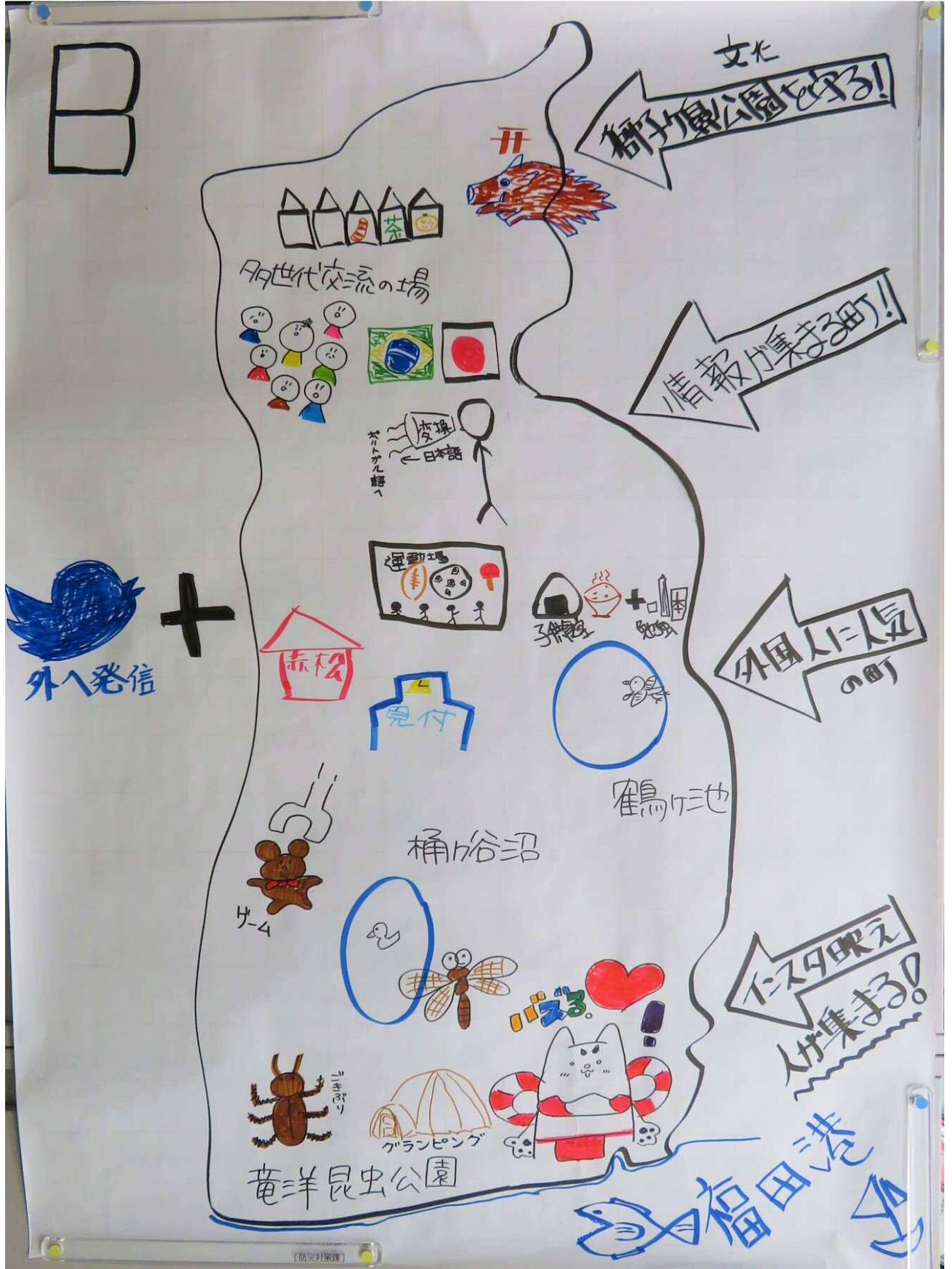


以降、グループの模造紙

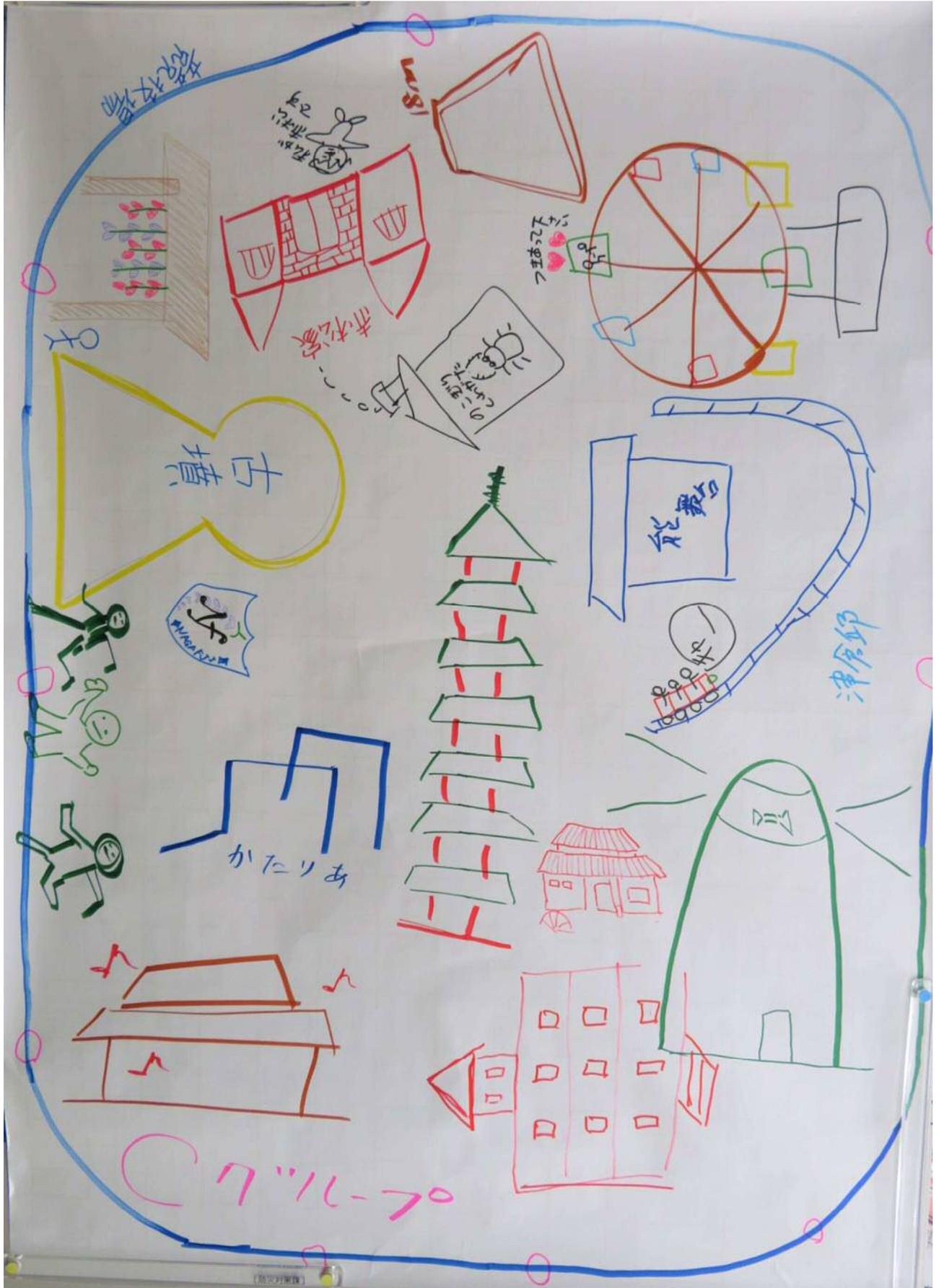
A

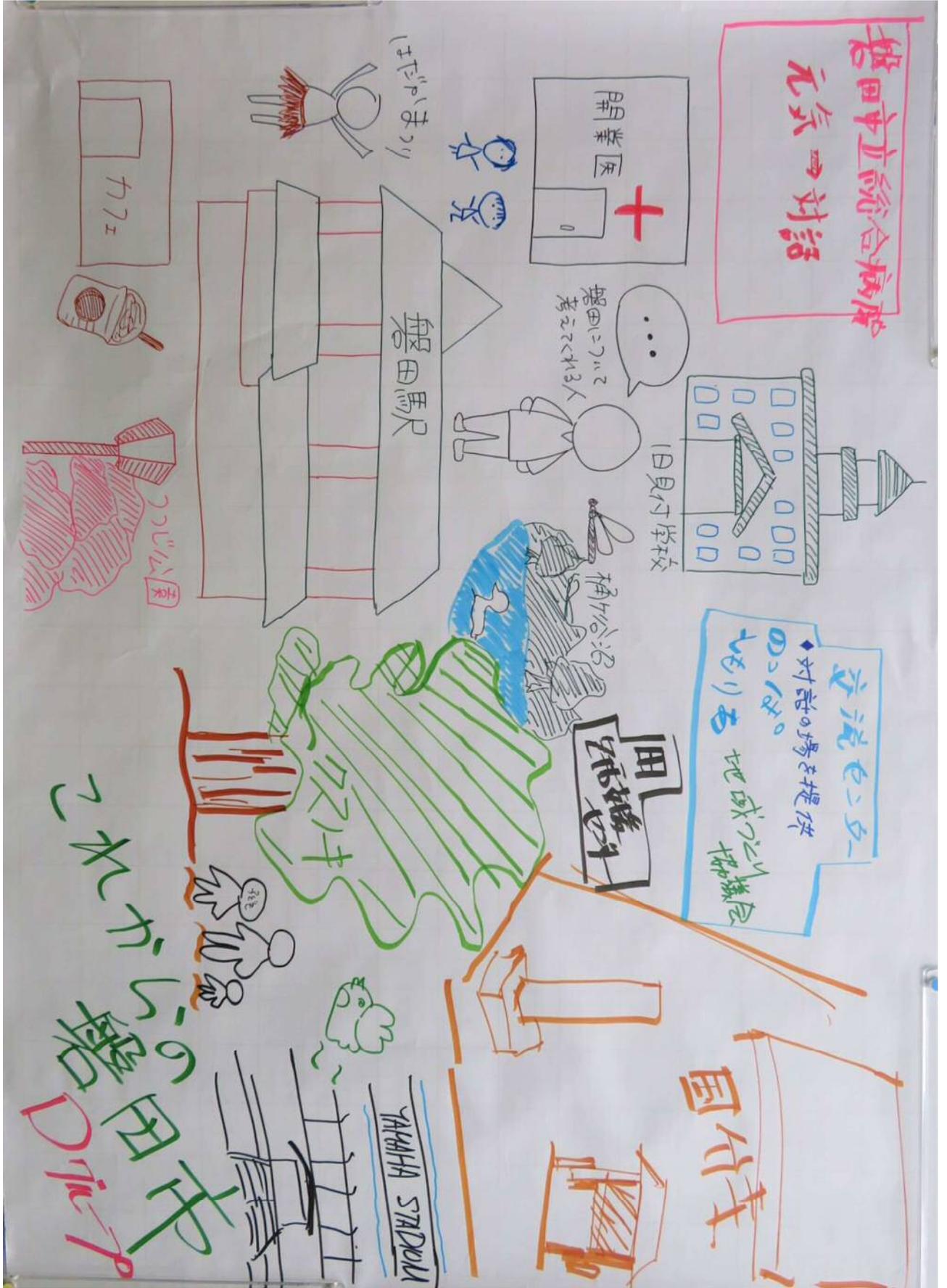
The poster is divided into two main sections. The top section is for the 'Iwata City Children's Museum' (磐田市児童館). It features a drawing of a cat's face in the top left. The title '磐田市児童館' is written in large blue characters. Below it, '対話場 (A)' is written in green, with '対話場' circled in orange. To the right is a blue architectural drawing of a building with a door and windows, with arrows pointing to it from the text '児童館' and '対話場'. Below the building are drawings of a swing set and a circular table with chairs. To the left of the building, there is text: '商店街で' (in a shopping street), 'キラ一度品' (one-time items), '移動' (mobile), '月-マーケット' (monthly market), and '地域の交流場' (community exchange place) with a small truck icon. Below this are drawings of two shops labeled '商店' and a building labeled '映画館' (cinema). The bottom section is for 'Guest House' (ゲストハウス). The title 'ゲストハウス' is in blue, and '見付宿の復活' (Revival of Miyama-ryu) is written below it, with '見付宿' circled in red. Underneath is the word '文化' (culture) in red. To the left, a drawing shows a person holding a sign that says '見付天神' (Miyama Tenjin) and another person looking at it, with the word '交流' (exchange) written in red. A speech bubble above them says 'し、ぱい伝説、7知、73?'. To the right, there is a drawing of a person sitting in a chair, with some scribbled text above it.

B

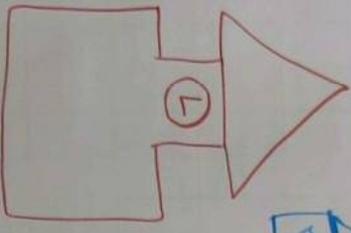


C



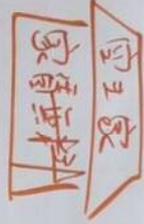


② 町内会「集約的」

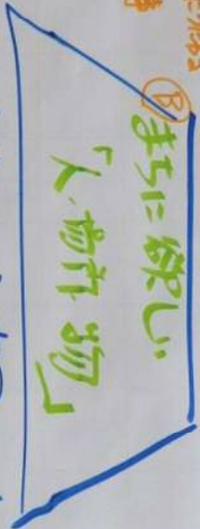


老若男女が

気軽に身近に集まる 集田。



まちに欲しい



おはようから
おしゃべり合々
話し合える
相談できる場所
調理できる場所

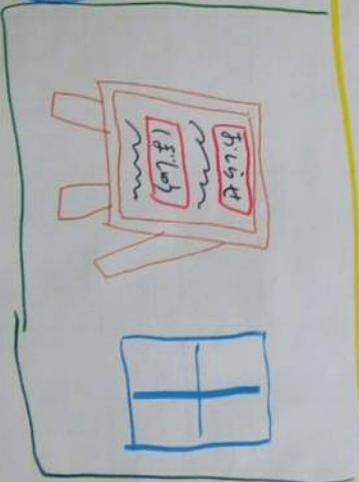
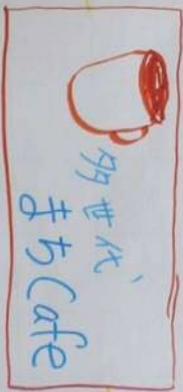
～ 近所前



F 集まる

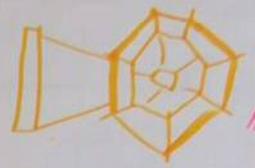
③ まちに欲しい 「対話の場」

意見交換 情報交換



チターダ

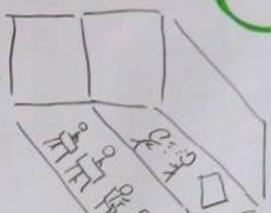
水草の型



水がうたかた



自然を
まもる!



自由空間

学生主体の集まり場
+ (自由空間)
地域の文化継承
地域交流の場



ミミズ

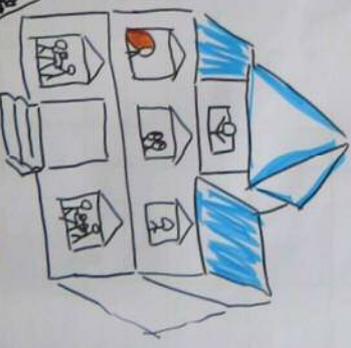
茶

地球温暖化

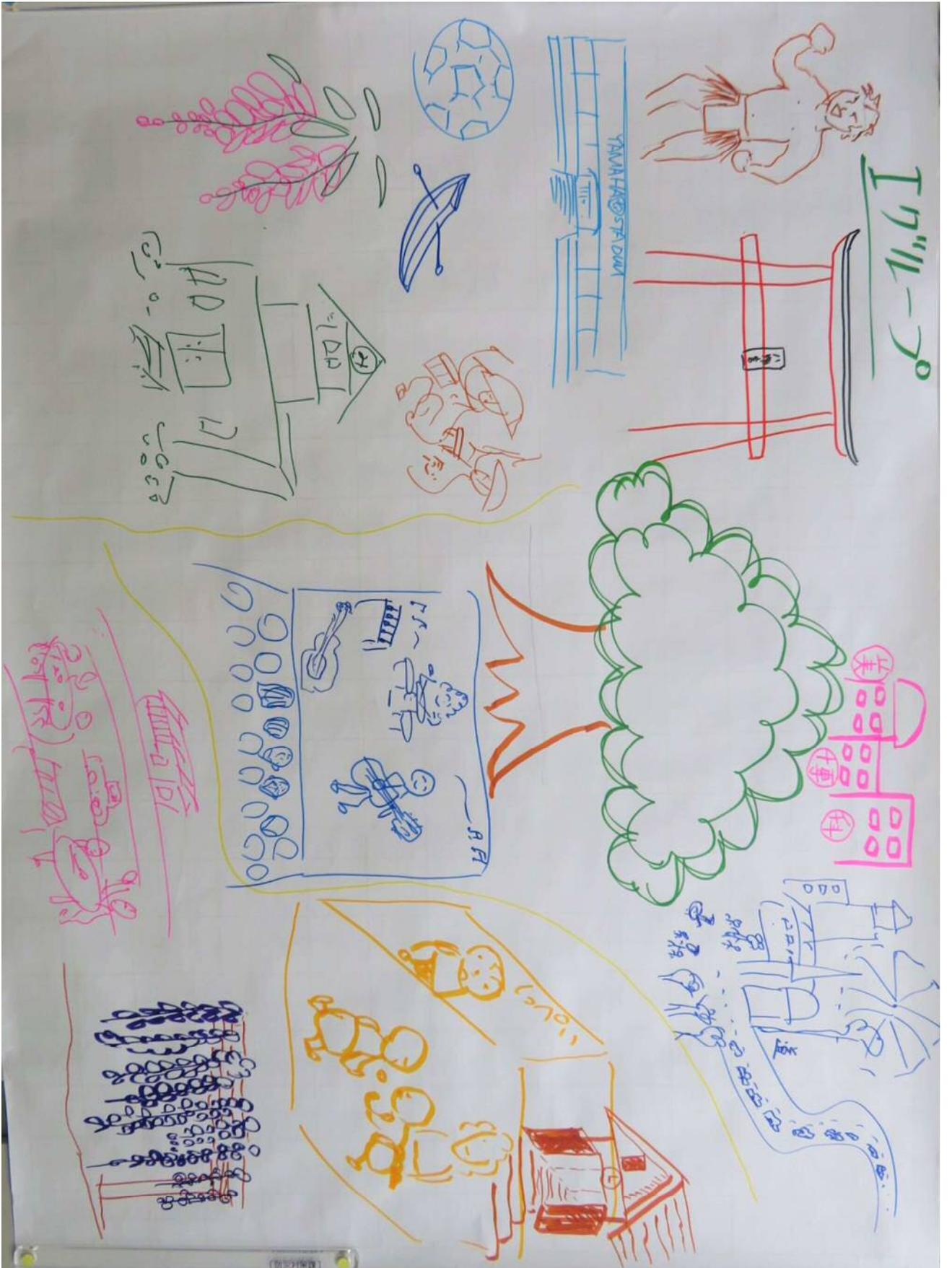


取手前

歴史遺産の有効活用
↓
歴史遺産の活用(活用)







4 今後について

ワークショップを通じて、まちづくり条例や自分の住んでいる磐田市の現状を知り、市民自治や協働などについて学んでもらいました。また、大切なことは、“自分たちのまちを自分たちで考えること”、“補完し合う関係性”、“対話の積み重ね”であって、まちづくりとはその日だけの成果物ではないことを感じてもらいました。

この3回のワークショップを踏まえて、令和5年3月20日（月）13時30分から第9回（仮称）磐田市協働のまちづくり基本条例策定検討委員会を開催します。委員からはこのワークショップでの経験や学びをもう一步先に進めてみたいとの意見も出ており、令和6年4月の条例改正に向けて、進め方や条例素案のまとめ方などについて検討をしていく予定です。

事務局：磐田市地域デザイン推進室

